

## 終わりに

国の学力調査やPISAなどの国際的な調査結果の公表を契機として、「活用する力」が注目されてきました。今後、実生活・実社会で算数・数学を生かす活動がますます重視される時代になると思います。その算数・数学を活用する力をはぐくむためには、活用すること(活用したこと)を子どもたち一人一人に意識させる指導を積み重ねることが大切であると考えます。そうすることで、自分が身に付けた算数・数学を日常の生活の中で役立てられないかと常に考える児童生徒を育てることにつながります。また、このことが、学習意欲を高め、確かな力をはぐくむことになると思います。

児童生徒は、授業の中で既習事項を活用して新しい問題を自力解決したり、学んだことを活用して学習内容を発展させたりすることを通して、算数・数学の楽しさを実感していくのではないのでしょうか。

「算数・数学を活用する力」をはぐくむ指導をする際に、本研究の実践事例や授業アイデアを、多くの先生方に生かしていただけたら幸いです。

佐賀県教育センター

確かな力をはぐくむ算数・数学の授業研究委員会

### 研究委員

岡 孝一郎	(佐賀県教育センター)
金氏 貴世子	(佐賀県教育センター)
興 栢 哲也	(佐賀県教育センター)
渡 邊 英博	(佐賀県教育センター)
石 井 弥生	(佐賀市立新栄小学校 教諭)
小田島 ひとみ	(白石町立白石小学校 教諭)
菊 永 雄大	(唐津市立呼子小学校 教諭)
中 村 初男	(伊万里市立大坪小学校 教諭)
青 木 国博	(佐賀市立大和中学校 教諭)
原 涉	(小城市立三日月中学校 教諭)
前 田 雅利	(唐津市立名護屋中学校 教諭)

### 参考文献

- ・文部科学省 『小学校学習指導要領解説 - 算数編 - 』 平成 11 年 東洋館出版社
- ・文部科学省 『中学校学習指導要領解説 - 数学編 - 』 平成 11 年 大阪書籍株式会社
- ・筑波大学附属小学校算数研究部 編著  
『算数授業研究 49 号』 平成 19 年 東洋館出版社
- ・長崎 栄三 編著 『算数・数学と社会のつながり』 2001 年 明治図書
- ・坪田 耕三 『算数楽しくオープンエンド』 2006 年 教育出版
- ・滝井 章他 『とっておきの算数発展授業 4 年・5 年・6 年』 2003 年 日本標準
- ・永田 潤一郎 『数学科の授業づくり 中学校 1・2・3 年編』 2006 年 明治図書
- ・大畑 誠 編 『中学生版 数学への旅』 2006 年 新風舎
- ・釣 浩康 『論理的に考える力が身につく本』 2001 年 P H P 研究所
- ・銀林 浩 『どうしたら数学ができるようになるか 中学校編』 2001 年 日本評論社